

## 概要

本研究は、花屋を経営する家族の姿をみて影響を受けた著者が、大学生の日常生活における花の重要性に対しても興味を持つようになった。本研究の目的は、大学生の生活における花の役割を探求し、彼女らの花に対する嗜好や好みを分析することである。これを達成するための手法として、AIで生成した画像を利用した。

研究方法としては、花の重要性について、「場面」、「花の色」、「花の種類」、そして「その他のオブジェクト」について検討し、9つの異なる大学生生活の花のあるシーンを定義した。次に、Canvaという画像生成AIを用いて、これらのシーンに基づく画像を生成した。アンケート調査の対象は、異なる学部や学年、文化的背景を持つ大学生とし、これらの生成画像を用いてアンケート調査を実施することで、大学生の花に対する嗜好度を理解することを目指した。収集したデータはコンジョイント分析によって分析し、上記の項目に関する反応や重要性を確認した。

この調査・研究からは、大学生が好む花の種類や、それらに関連する嗜好についての影響を検討した。この研究は、大学生の日常生活における花の役割を深く理解するための新しい方法を提供する。AI技術を利用して、大学生の美的嗜好や感情的な反応を探ることにより、視覚的な美が彼女らの好みにどのように影響するかを理解することができる。最終的に、大学生が最も好む花のある大学生生活のシーンを提案することにより、この研究は大学生生活における花の価値と、AIが生み出す視覚的な美の探求に貢献する。